

川遊び ～今年で10回目！～

8月2日、毎年行っている川遊びを開催しました。今年は永慶寺川の河川工事が行われており、いつもと場所を変えてやることになりました。

参加者約250人（子ども150人）が六区集会所に集合し、体操をした後、川に移動しました。そこはすでに河川工事が終了している場所なので、いつもの年よりはきれいでしたが、恒例の「川そうじ」から始めました。それでも空き缶やペットボトル・お菓子の袋・木や石等を拾い集めました。川の水は深いところで大人の膝ぐらいで、低学年が遊ぶのに丁度良い深さです。今年は子どもたちを自由に遊ばせようという事で、今まで行ってきたカヌー教室や魚つかみは行ないませんでした。子どもたちがどのようにして遊ぶのかと気になっていたのですが、個々がノビノビとしていました。また、昔子どもだった方々も魚をつかまえてきては、子どもたちと一緒に池（水溜り）や水路を作ったりして楽しい一時を過ごしておられました。そして、恒例の消防団の放水が始まると、皆、川上に移動して、ホースを持たせてもらったりしていました。

「川遊び」は、「川」や「水」の楽しさと共に怖さや、「河川」へのゴミのポイ捨ての多さを知ってもらい、何かを感じてもらえれば・・・という思いで、地域の皆様の温かい見守りのもと毎年行っています。これからも多くの子どもたちが参加して、世代間交流ができたと思っています。

最後に、集会所にて、地域の方々が作ってくれたカレーをお腹いっぱい食べて、皆満足した顔で帰っていききました。

大野地域（六区）
特派員 松本妙子



また一緒に勉強しようね ～チャレンジ体験学習～

8月5日・6日、金剛寺小学校で「チャレンジ体験学習」が行われました。地域ぐるみの学校づくりをめざし、廿日市市が昨年から実施している事業で、金剛寺小学校4年生（20名）と浅原小学校3・4・5年生（7名）の児童が双方の学校を訪ねて一緒に学習を行っています。1学期には浅原小学校で行い、今回は金剛寺小に浅原小児童を招いて学習しました。

5日の午後、「干潟の生き物体験ツアー」ということで、海洋環境保全推進員の松本誠一さんの指導で、地御前海岸で干潟の生き物を観察しました。学校から串戸地区のコミュニティの有志や保護者の皆さんなどが付き添って、干潟で一緒に学習しました。

暑い日差しでしたが、御手洗川の水量が多く、川の流れにいる時は気持ちよく観察ができました。指導者の松本さんから干潟は生き物が住んでいる場所なので、「心の中で邪魔しますと言って入ろう」と言われました。一見何もうそにない干潟もよく観察していると、たくさんの生き物がいることがわかり、児童は石に付いている藻を食べるコメツキガニや潜望鏡のような柄の長い目をしたヤマトオサガニ、脚で「パチッ」という音を出すテッポウエビなどを捕まえていました。また干潟の掃除屋アラムシロガイが死骸のにおいを敏感に感じて、すばやく集まってくる様子なども観察しました。

今回の体験学習では、その他に「ネイチャーゲーム」や「エコのみ焼きづくり」なども行い、両校の児童は楽しく2日間を過ごしました。

廿日市地域（串戸）
特派員 平井順之助



雨の強さ・人が感じるイメージ・注意報／警報の目安

時間あたりの降雨量	実際の状況
5～10mm/h	すぐに水溜まりができ、雨音がよく聞こえる。
10～20mm/h	雨音で話し声が聞こえないことがある。 長雨の場合は警戒が必要
20～30mm/h	下水が溢れ、河川が氾濫することがある。 がけ崩れの可能性も
30mm以上/h	バケツをひっくり返したような豪雨。 危険箇所は避難準備または自主避難
大雨注意報	大雨によって災害が起こる危険が予想される場合。 3時間の雨量が40mm以上、24時間の雨量が平地で70mm以上、山地で100mm以上が予想される場合など
大雨警報	大雨によって重大な災害が起こる危険が予想される場合。 1時間の雨量が40mm以上、24時間の雨量が平地で150mm以上、山地で200mm以上と予想されるなど
洪水注意報	洪水によって災害が起こる危険が予想される場合。 1時間の雨量が30mm以上、24時間の雨量が100mm以上になると予想されるなど
洪水警報	洪水によって重大な災害が起こる危険が予想される場合。 1時間の雨量が40mm以上、24時間の雨量が平地で150mm以上、山地で200mm以上になると予想されるなど

出典／防災システム研究所より

ネットワーク現在の状況

（平成21年9月末現在）

登録団体 151 団体

知っとく情報☆

自主防災のススメ

気象情報・避難情報をチェックしましょう！

雨の日の散歩

まず、マンホールの位置を確認。下水が溢れてマンホールの蓋を押し上げ、ずれる危険があります。水の流れる方向を確認したり、地域によっては河川の警戒水位・危険水位の掲示などもチェックしましょう。



*** お問い合わせ先 ***

廿日市市市民活動センター

廿日市市住吉2丁目2-16

TEL 0829-32-3741

FAX 0829-32-3742

HPアドレス <http://www.hatnet.jp/>

運営協議会トピックス

休館日の変更のお知らせ

現在センターの休館日は日・祝日（2ヶ月前申請による日曜開館有）となっておりますが、来年度4月より日曜日を閉館とし、月・祝日が休館となります。

従って6ヶ月前にあたる10月からは、2010年4月以降の月曜日は予約ができません。

センターまつりを開催します

開催日が2010年3月14日（日）に決定しました。企画案や参加団体を募集しています。センター事務局で受付しています。企画案につきましては10月末までにお寄せください。

駐輪場が新設されました



センター北側の壁面に屋根付の駐輪場を新設しました。駐輪可能台数20台となっております。ご利用ください。

忘れ物処分前、もう一度ご確認を！



当センター受付でお預かりしている忘れ物を、「センターからのお知らせコーナー」に展示しています。お心当たりのかたは、センター受付まで申し出てください。展示期間は10月31日までです。

花壇がカラフルな花で華やかになりました

センター前の花壇が色とりどりの花で華やかになっています。手入れは近所の方々が公共施設の美化活動のボランティアとして行ない、咲かせました。また当センターと共同でゴーヤを栽培し、1階ロビーの窓に緑のカーテンができました。この活動が交流の場づくりにもなっています。



設備・備品の予約ルール紹介

当センターには多くの貸し室や備品がありますが、予約日のルールが異なりますので、予約の目安になるように、表にしました。（詳しい備品の内容については受付にお尋ねください）

利用項目	登録団体
第1・2・3研修室 和室	6ヶ月前から
日曜祝日臨時利用（1研・2研・3研・和）	6ヶ月前から2ヶ月前の月末まで
1階会議室 2階小会議室 ミーティングルーム	3ヶ月前から
団体会議室	3日前から
貸出備品（黄色ファイル） ワイヤレスマイク ビデオカメラ 液晶プロジェクター OHP テント 釜2種	3ヶ月前から
貸出備品（ピンクファイル） PA用マイク2種 ミキサー スピーカー 8ミリ映写機 DVDレコーダー パソコン4種	（※利用は備品取扱登録者に限る） 3ヶ月前から



ネットワーク団体紹介

しりあっChaO

『災害は忘れたころにやってくる』。今回は防災をテーマに取り上げました。被災から10年目を迎える今年6月29日に当センターで自主防災の意見交換会が行われました。当センターの運営協議会の議題にも上がりました。被災を過去のものとして、自主防災の組織づくりや被災対策などに取り組む動きも進んでいます。当センター登録団体の中にも災害ボランティアに関わったり、自主防災組織を立ち上げた団体がおられます。そういった団体の体験談・防災活動を紹介します。

覚えていますか？災害の記録

過去10年の大きな災害（廿日市市被害総括表から一部抜粋）

	平成11年6月29日	平成13年3月24日	平成17年9月6日
災 害 名	集中豪雨	芸予地震	台風14号
災 害 規 模	最高雨量 68mm/時	震源地芸予 M6.4 震度5強	総降水量394mm(津田)
主 な 被 害	道路・河川被害 頓子橋等 四季が丘公園	家屋半壊・一部破損 アルカディアビレッジ 遊歩道 ふるさと会館	道路・河川被害 魅惑の里 スパ羅漢 大聖院 里地集会所 下栗栖集会所

※資料は合併前のデータのため一部含まれていない地域もあります。



宮園地区・・・災害ボランティア

10年前の6月29日「原、平良地区で災害が発生し、救助活動にたくさんの人が必要です。活動時間は平日の・・・連絡は社協へ・・・」我が家に流れてくる放送は私の心に響きました。この放送は災害の状況を把握した社会福祉協議会から宮園地区に設置している有線放送を使って団地内に何度も流されました。早速社協に電話をしましたが、その時社協には放送を聞いたというボランティアの申し込みが一斉にかかってきたそうです。

宮園だけでなく、他の地域からも集まった延べ100人が慣れない作業を交代や休憩をはさみながら続けました。大量の土砂が流れ込んだ家の床下からバケツリレーで泥をかき出す作業を行いました。「足が悪くて作業はできないけど、運転ならできる。」と現地へのボランティア輸送を申し出た人もありました。被災された人たちは茫然自失の感じてましたが、私たちの手伝いにすごく感謝してくださいました。その後、ボランティア参加者や社協、行政で、勉強会や話し合いが何度も重ねられ、社会福祉協議会に災害救援ネットワークができました。

宮園地区でも、いざという時のためにも近所の人とのコミュニケーションがとれる関係を作りたいと、花見会などを利用して集まる機会を増やしました。

宮園地区：森兼秀子 八崎真理子



宮島地区・・・土石流・炊き出しボランティア

宮島では平成17年9月6日、台風14号による土石流被害が発生しました。この時、本徳栄養士さんの声かけで食生活改善推進員協議会（食推）メンバーと町民12人で150人分のカレーを作りました。

杉之浦公民館調理室で、材料は家庭にある野菜を持ち寄ったり食推の会計より購入しました。できたカレーは避難場所になっている杜の宿、役場、福祉センターへ市の職員の方に配達してもらいました。初めての災害で役場も避難されている人数がはっきりと把握できていなかったため、夕食の準備ができていたことが住民にうまく伝達できませんでした。渡せなかった方々には翌日温めなおし、昼食にしてもらいました。滝町・久保町で災害にあわれた家屋の泥だしバケツリレーも手伝いました。宮島は一人暮らしで高齢の方も多いので、災害が起きた場合、被災時の介護も考えていかなければならないと思います。

炊き出しも必要ですが、一人暮らしの方には、元気な住民が寄り添う姿勢も大切だと思います。

宮島女性会副会長 内山貴美子
(当時：宮島町食生活改善推進員協議会会長)



各地域の防災に向けての取り組み



四季が丘地区・・・第1回総合防災訓練



平成16年5月、「災害とはなにか」というところからスタートし、「自分達の地域は自分達で守る」という考えの下に、独自の自主防災工程表を基に活動を続け、今年で6年目です。町内会長及び防災委員等の会議のメンバーの防災意識及び知識の向上にも努めています。

平成17年度、普通救命講習の実施を開始し、現在、約370名の方が受講されました。将来的には20歳以上の住民の約10%以上の受講を目標にしています。平成18年度の4月には防災マップの初版を作り、各戸に配布しました。またこの年初めて、防災訓練を1、2丁目町内会で行いました。この訓練は20年6月末までに全ての町内で実施され、述べ訓練回数は12回（2回目を実施した町内も有）、延べ約1,230名の方が参加されました。



平成21年3月には、防災訓練の集大成である第1回総合防災訓練を行いました。平成19年度には、廿日市市防災行政無線が整備され活用する運びとなり、また、防災マップの第一回の改訂と四季が丘地区自主防災活動規定の制定を行って平成20年の4月にこれらを全戸配布しました。21年7月からは無線機（トランシーバー）を導入し、各町内で2台ずつ保有して非常時に役立てるように図っています。

このように、当協議会では地域防災力の向上に努めていますが、最終目標は、11町内会が独自に防災活動ができる体制にすることです。まだまだ課題はありますが、確実に歩んできていることは確かです。

四季が丘地区自主防災連絡協議会議長 岡村秀豊

廿日市地区・・・第1回避難訓練

廿日市地区のまちづくりについて協議を進めていく中で、住民の共通認識が必要ということから、自主防災を切り口にすすめていくことにしました。当地区は約60町内会で連合を組織し、1区から5区に分かれています。

それぞれの区において地形的環境の違いから危機意識にかなり温度差があり、全地区を同時にスタートさせることは無理でした。そこでまず、可愛川沿いの5区に注目し急がず時間をかけて取り組みをはじめることになりました。第1回（平成18年12月）から13回（毎月1回ペース）会議を行い、一次避難場所、避難経路、伝達方法などを各町内会で決め、土地の高低実測、ポンプ場（住吉）見学などを行いました。

机上だけでは実体がつかめないという事から、実際に訓練を行いたいという声をうけ、全地区を対象に、町内会連合会を中心に10を超える団体・組織の実行委員会により第1回目を平成21年2月最終避難場所である中央市民センター（公民館）で行いました。当日は、市の防災行政無線や屋外スピーカーでの呼びかけを行い、各町内会毎に決められた一次避難場所に集まり（総数1000人位）うち代表の2～3名が中央市民センターへ避難しました。（総数200人位）計画通りにはいかず反省材料が多く出ましたが、一回目としてはまずまずの成果をあげたと思います。その時のアンケートでは、定期的に続けてやってほしいとの声が多く、より充実した第2回目を検討しております。色々と問題が多く、中でも要援護者の避難支援については、時間をかけて取り組むことにしております。

なお、組織の名称を「廿日市地区自主防災協議会」とし、立ち上げから訓練（第1回）までをまとめた小冊子を作成中です。

廿日市地区コミュニティ推進協議会 谷口秀則



センターの危機管理・・・消防避難訓練



消防法施行令に基づきセンターでは年に2回避難訓練を行っています。今年度の1回目として8月26日、9時30分から、避難訓練を実施しました。今回は3階和室の湯沸しポットが出火元という想定で行い、当日はセンタースタッフや運営協議会メンバーのほか、センターを利用中の子どもの発達支援センターすまいる、読み聞かせグループママレンジャーも参加されました。日頃から防災に対する心構えが大切だということを再確認できた、よい機会となりました。

12月9日（水）に2回目の訓練を行います。当日センター利用の方は、避難経路の確認ができるチャンスですので、ぜひご参加ください。

地域協働課